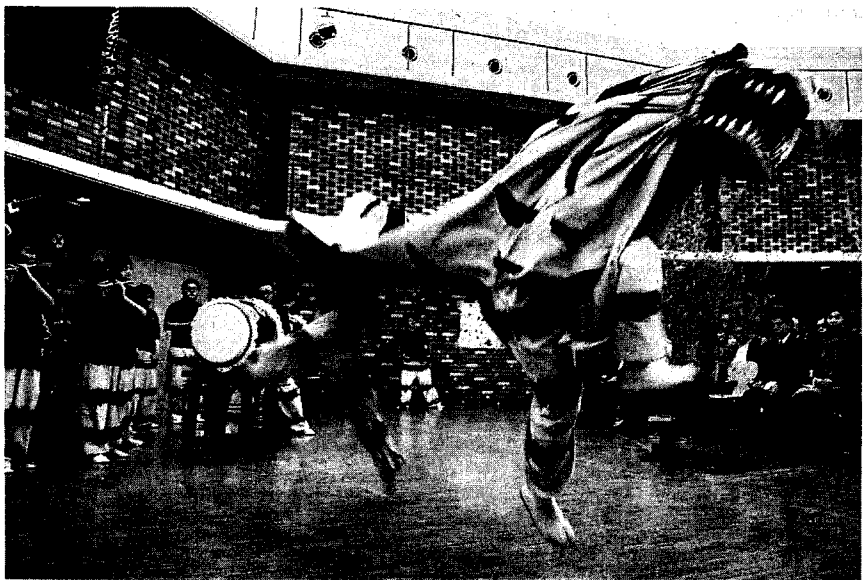


復興支援 恩返しの虎舞



虎舞を披露する吉里吉里学園の生徒たち

勉強を教えたり、遊び場を作ったりしてきた。ボランティアに参加した学生は5年間にのべ1千人を超える。

春の修学旅行に合わせて生徒が明治学院大を訪問するのも恒例となった。4回目のこの日、9年生(中学3年)22人が、学生と交流したこれまでの歩みをスライド写真などで振り返り、感謝の言葉を贈った。「これからも復興していく吉里吉里と成長していく私たちの支えになってください」

横笛の調べと太鼓の音とともに、生徒2人で操る虎が激しく舞った。江戸時代から続く郷土芸能は今や、被災地を元気づける心の支え。学校内外で、生徒も大人と一緒に練習を重ねてきた。舞いが終わると、学生や職員ら約70人で埋まった会場は拍手に包まれた。

吉里吉里の生徒、明学大生に

大学内のボランティアセンタ

岩手県大槌町立の小中一貫校・吉里吉里学園の生徒たちが14

1が中核となり、被災直後から

日、明治学院大学(港区)を訪

学生らが大槌町に入った。吉里

れ、郷土芸能の「虎舞」を披露

吉里学園は海に近い高台にあ

した。東日本大震災の直後から

り、避難所などに使われた校舎

吉里吉里地区の支援を続けてき

内の清掃など授業再開への支援

た学生たちへの感謝の気持ちを

から活動を始めた。毎年夏休みに

込めた。

に学生が滞在し、子どもたちに

た。部4年の中村尚也さん(21)は「学習支援というのは結果が目には見えづらい。きょう改めて、やってきて良かったと心から思いました」と感激していた。

(井上恵一朗)